

レオナシティス通信

www.nakanishireo.com/

2021年夏号 発行:中西レオ応援団



挑戦を続ける
中西レオ

コロナ禍で 議員はもっと 働く!

行政からの情報が届いていないなら、その改善に向けて取り組むのが議員の役割です。役所の下請けのような活動ばかりをしていられる議員は必要ありません。

議員だからできる」と

もちろん、それで救われた人や必要な情報を得た人もいるでしょう。しかし私はもどかしい気持ちになりました。

もちろん、それで救われた人や必要な情報を得た人もいるでしょう。しかし私はもどかしい気持ちになりました。

昨年春の緊急事態宣言(1回目)あたりから、議員が発信する情報(チラシやSNS)の内容が「給付金こんなのあります」「制度一覧」などといった「行政の発信内容のコピー」であることが非常に多くなりました。

コロナ禍において議員の役割は何でしょうか?緊急事態宣言など活動が制約される中、何ができるのか、何をしたのかを考えてみます。

役所の情報をコピー

他市の状況も伝える

他市の取り組みを調査し、明石市民と共有することも必要です。例えば、千葉県松戸市(人口約49万人)は市民に毎月2回までのPCR検査(無症状者対象)費用を補助しています。(上限2万円/回)

福島県郡山市(人口約33万人)ではワクチン接種の計画が早く、6月1日時点で65歳以上の2割

29歳以下は お任せ民主主義?

「権力に逆らう!空気を読まないヤツ」という若者の意識を書いた記事を読んで驚きました。現状に不満があつても「きっと権力者も大変なんだろう」と批判も反発もせずに、むしろ批判する人を白眼視するそうです。

コロナへの対応が各市、各县、各國で異なり、その成果にも差が出ているなか、「我まちでもしつかりやつてほしい!」という声を力いっぱいぶつけていただきたいと思います。

また、ある若者は「政治に詳くない私が安易に投票す

るのは良くないので棄権します。」と私に言いました。1票の重みを感じるがゆえに投票しないということです。まじめだなあとと思う反面、政治に詳しい人“って誰でしょう?誰もが自分の視点をもつて、良いと思う人に投票してもらいたいです。たとえ、それが私じゃなかつたとしても、

